

無停電電源装置 ICT-530J/ICT-530UJ 取扱説明書



このたびは POWERCOM ICT-530J/ ICT-530UJ UPS をお買い上げいただきまことにあり
ありがとうございます

⚠ 注意

1. 本装置を取り扱う前に必ずこの取扱説明書及び注意書きをお読み下さい。
2. 本取扱説明書は保証書も兼ねていますので、お読みいただいた後は大切に保管し、必要な時に活用して下さい。なお、最寄りの販売店にお問い合わせください。



Complete Power Solution™

POWERCOM CO.,LTD

お使いになる前にこの安全上の注意を必ずお読みください。いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

重要なお知らせ

- ◆ 本製品をご使用前にマニュアルを必ずお読みになり、注意事項をお守りください。
- ◆ マニュアルは大切に保存してください。

このマニュアルは、本装置（UPS）とバッテリーの設置・メンテナンスの重要な手順を含んでいます。

◆ ご注意:

- ◆ 本製品は日本国内仕様(単相 100V50/60Hz) です。海外でご使用の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ◆ 本製品は一般事務所用や家庭用として作られていますので、医療用や高度な制御システムなどの用途には使用しないでください。
- ◆ 本製品は 15℃～25℃の温度(伝導性の環境がない屋内のエリア)における使用のために意図されています。(低温、高温時には十分な性能を発揮しない場合があります)
- ◆ ご使用時にはアースを必ず取り付けてください。取り付けない場合は故障、漏電の際の感電や火災、ノイズによる誤作動の原因になります。
- ◆ 本装置を使用中に異音、異臭、発煙など異常が生じたら直ちに使用を中止して、販売店または弊社までご連絡ください。
- ◆ 感電の危険がありますので電源が入った状態でカバーを開けないで下さい。修理・バッテリーの交換はサービスの要員に委託してください。
- ◆ バッテリーの交換サービスはバッテリーの知識のある人が実行されるか、監督してください。
- ◆ バッテリーは定期的に交換してください。
- ◆ バッテリーを取り出して火に投入しないでください。バッテリーは爆発、破裂の危険性があります。
- ◆ バッテリーを分解、切断しないでください。内部の電解質は皮膚と目に有害です。
- ◆ バッテリーを交換する時に、同じタイプの指定バッテリーに交換してください

◆ データ保護について

- ◆ 本装置の故障、誤作動により発生するデータの破損等に備え、お客様の責任でデータ保護をしてください。
- ◆ 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求にはいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

目次

重要なお知らせ	1
1. プレゼンテーション	2
2. 設置	3
3. 操作	4
4. ソフトウェアとコンピュータインタフェース(オプション)	5
5. バッテリーメンテナンスと交換	5
付録トラブルシューティング	7
付録 仕様書	8
保障規定	9

ICT シリーズ無停電電源装置(UPS)をご購入いただき、有り難うございます。

このマニュアルは本装置および接続された機器の正常な操作の内容を提供します。

このマニュアルは本装置の操作と正しい設置のための重要な安全手順を含みます。

万一、本装置についての疑問・問題がありましたら、どうぞ、パワーコムサポートに連絡する前に、このマニュアルを参照してください。

包装は再利用できます。再利用のために、保存するか、または適切に処理してください。

以降、本装置はUPSと称します。

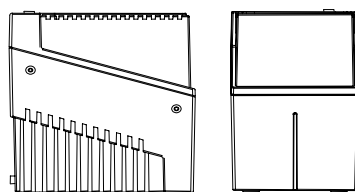
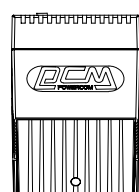
1. プレゼンテーション

ご使用前に同梱品を確認してください。

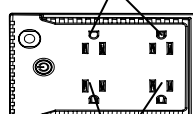
同梱品：UPS 本体 x 1、変換プラグ(2P-3Pアダプター) x 1、マニュアル x 1、保証書 x 1

【USB タイプのみ (USB ケーブル x 1、自動シャットダウンソフト x 1)】

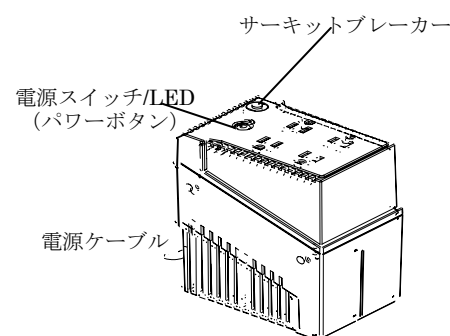
正面図と側面図



バックアップコンセント



サージコンセント



1.1 「電源スイッチ兼パワーインジケータ」について

- UPS の動作が正常な時に、インジケータについている LED ランプが点灯します。
- インジケータはバックアップモードの時には各 4 秒間隔で点滅します。
- 急速な点滅(1 秒)は、内側のバッテリーが交換時期を意味しています。

ご注意

急速な点滅が通常動作モードの中で起こった時には、内部のバッテリーを交換する必要があります。

1.2 バッテリーのバックアップコンセントとバイパス保護コンセント

- バックアップコンセント：電源トラブルが発生した際、接続機器に瞬時のバックアップパワーを提供しています。
- バイパスサージコンセント：常に機器にフルタイムのバイパスサージ保護を提供します。

1.3 パワーボタン（電源スイッチ）「ON/OFF/TEST」

- ブザーが停止する(約 2 秒)まで、パワーボタンを押すと UPS は電源が入ります。
- UPS を通電後に、セルフ・テストおよび正常な入力モードの確認を実施します。
- 通常モード時に、1 秒間、パワーボタンを押してください。1 秒の間パワーボタンを押すことによってバックアップ可能か/使用不可かが判断できます。1 秒押しただけで電源が切れる場合は動作不良です。原因を確認してください。
- UPS を消すために、ブザーが停止する(約 2 秒)まで、パワーボタンを押してください。

1.4 サーキットブレーカー

- オーバーロードと障害保護として作用しています。
- これは高度な UPS 急増保護回路の重大なコンポーネントです。

2. 設置

2.1 バッテリーを充電してください。

- UPS を使う前に少なくとも 8 時間以上、バッテリーを充電してください。充電しないでご使用になりますと故障の原因になる場合があります
- バッテリーは、工場から出荷される前に完全に充電されていますが、UPS が出荷・流通期間の間にバッテリーのエネルギー損失が起きますのでご使用前に充電してください。
- バッテリーを充電するために、UPS を商用電源（AC コンセント）差し込んで、機器を接続しないでスイッチを入れてください。

2.2 接続機器を接続してください。

- UPS のスイッチを入れた後で機器のスイッチを入れてください。バッテリーバックアップコンセントには主要な機器（例えばコンピュータ、モニタ、および重大なデータ記憶装置など）を接続してください。

- UPS のバッテリーバックアップコンセントの最大接続容量は265W です。オーバーしないようご注意ください。
- フルタイムのバイパス保護コンセントに周辺装置(例えばプリンタ、スキャナ、ファックス、またはオーディオ機器等)を接続してください。
- UPS には高消費電力のレーザープリンタを接続しないでください。電源 OFF の原因になります。
- UPS のバッテリーバックアップコンセントに消費電力の大きい(例えば冷蔵庫、エアコン、掃除機、複写機など)機器を接続しないでください。

2.3 UPS セルフ・テスト

- UPS は時々電源スイッチを 1 秒間押してセルフ・テストを実施してください。
- 完全なオーバーロードによって、警告ブザーが鳴っている間は、この機能は使用不可になります。

2.4 バッテリーオートチャージ

- UPS が商用電源 (AC コンセント) に接続している間に、内部のバッテリーは、自動的に回路にチャージして充電されます。

2.5 オート再起動機能

- バッテリー電圧が低すぎる間は、UPS が停止します。なお UPS のバッテリー電圧が回復すると自動再起動します。

2.6 オーバーロード (過負荷) 保護

- 負荷が 10sec の間 110%の定格基準値を越えている時、または 3sec.の間 120%の定格基準値を越えているならば UPS が自動的にシャットダウンされます。

2.7 自動シャットダウンまでの最長時間

- 入力電力が停電時は UPS に負荷が接続されていなくても、UPS は最長 30 分後に自動的にシャットダウンします。

3. 操作

- 3.1 簡単なテスト (シミュレーションテストを実施してください。)
- ユーザーが初めて UPS を使う時または負荷装置を追加する時にシミュレーションテストを行うことをお勧めします。
- 第一に、UPS のスイッチを入れて、パワーインジケータが点灯するのを待ち、そして、単に、電源トラブルの状態をシミュレーションするために、UPS のプラグを商用電源から抜いて正常にバックアップ動作するか確かめてください。

3.2 機器の電源条件をチェックしてください。

3.2.1. 機器の総消費電力が定格能力（700w）を越えていないことを確かめてください。

3.2.2. バッテリーバックアップコンセントに差し込んだ機器が定格能力（265w）を越えていないことを確かめてください。さもなければ、オーバーロードが起こり、サーキットブレーカーが作動するか、UPSがシャットダウンされます。

3.2.3. 機器の電源条件がWまたはVAならば、下で計算をすることによって、変換してください。

ワット (W) X 2=VA (PCMUPSの場合)

3.3 UPSのバックアップ時の動作

- 停電が起こる時に、バッテリーバックアップコンセントはそのバッテリーからパワーを機器に供給します。そのとき、ブザーは4秒ごとに1回ピーツという音（1秒）を發します。
- 機器が定格規定値内で動作していることを確認してください。

4. ソフトウェアとコンピュータインタフェース(オプション)

4.1 UPSMON

- UPSMON シリーズソフトウェアは、監視機能を実行する適用された標準のインタフェースにより、それから、停電の場合にコンピュータの整然としたシャットダウンを提供します。
- 更に、UPSMON は電圧、頻度、バッテリーレベルなどのモニターについてのすべての診断の状態を表示します。
- ソフトウェアはWindows 95/98/2000/me(Windows NT V4.0)で利用可能です。
- ご注意:本ソフトウェアは付属のケーブルでPCMUPSにだけお使いください!

4.2 コンピュータインタフェースポートの特徴

- コンピュータインタフェースポートは以下の特徴を持っています。
UPSの通信ポートはホスト・コンピュータと接続され、このポートは、コンピュータがUPSのステータスを監視し、場合によってはUPSの操作をコントロールすることを可能にします。
- その主要な機能は次のいくつかまたはすべてを含みます。
- パワーが切れる時に警告を発生するため。
- バッテリーバックアップが停止する前に一般的なオープンなファイルなどをコンピュータに収容する。一部収容できないファイルがありますのでご了承ください。

5. バッテリーメンテナンス

5.1 バッテリーメンテナンス

- 予防保守のために、UPS のまわりのエリアをクリーンにしておいてください。
- 15°Cから 25°Cの最適周囲温度に UPS を保持してください。低温、高温の場合は十分な性能が発揮されません。

5.2 最適なバッテリー状態

- 最適なバッテリー状態を維持するために、UPS を商用電源に差し込まれて、常時にスイッチが入った状態にしてください。

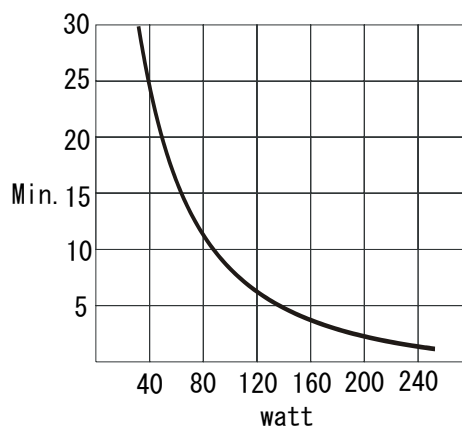
5.3 交換、保持

- 交換するバッテリーは必ず指定品をご使用ください。指定品以外で故障・不具合を発生しても保障の対象にはなりませんので、ご注意ください。
- 交換する場合は完全に充電されたバッテリーを UPS に供給してください。
- バッテリーの寿命を保証するために長期間保存する場合は 3 ヶ月ごとにバッテリーの再充電をしてください。

バックアップの目安 (ICT=530J)

バッテリーは新品の状態の目安です。保障値ではありません。

負荷 W数	バックアップ時間 (分)
30W	30.0'
50W	24.5'
70W	13.2'
100W	7.4'
120W	6.0'
160W	2.1'
250W	1.0'



5.4 バッテリーの廃棄

- バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において「特別管理産業廃棄物」に指定されていますのでむやみに廃棄することはできません。必ずリサイクルしてください。使用済みバッテリーの回収方法は 弊社ホームページをご参照ください。 <http://www.pcmups.jp>

付録トラブルシューティング

ブザー、LED、およびステータスのためのチェックテーブル

警告音	Power-on / LED (GREEN)	本装置の状態
OFF	ON	通常運転中
OFF	ON : 0.5'S OFF : 0.5'S	BATTERY 障害
ON : 継続音	AC MODE ON BACKUP MODE ON : 1'S OFF : 4'S	OVER LOAD (容量オーバー)
ON : 4'S OFF : 1'S	AC MODE ON BACKUP MODE ON : 1'S OFF : 4'S	FULL LOAD (負荷 100%)
ON : 1'S OFF : 4'S	ON : 1'S OFF : 4'S	停電時のバックアップモード
ON : 1'S OFF : 1'S	ON : 1'S OFF : 1'S	バッテリーの能力低下
ON : 0.5'S OFF : 0.5'S	ON	バッテリー充電不良

1. UPSの電源が入らない。バイパスサージコンセントは通電している

主な原因	解決方法
バッテリーの消耗 (瞬間にLEDランプがつく)	バッテリーを交換してください。
電気容量の低下 (テーブルタップから配線)	壁・床のコンセントに直接差し込んでください。
メカニカルな問題	販売店に連絡してください。

2. UPSの電源が入らない。バイパスサージコンセントも通電していない。

主な原因	解決方法
サーキットブレーカーが過負荷 (オーバーロード) により飛び出した。	バイパスサージコンセントから少なくとも 1 つ以上の機器のプラグを抜いてください。UPS のスイッチを切り、5 秒待ち、サーキットブレーカーボタンをリセットしてから UPS のスイッチを入れてください。
メカニカルな問題	販売店に連絡してください。

3. 停電時にバックアップ機能が動作しない。動作してもすぐ切れてします。

主な原因	解決方法
頻繁な停電のため十分に充電されていない	UPS を商用電源に差し込み、スイッチを入れて、バッテリーを再充電してください
本 UPS によって供給される容量を接続機器の容量がオーバーしています。	UPS アウトレットから少なくとも 1 つの機器のプラグを抜いてください
バッテリーが消耗または劣化したバッテリー。	バッテリーを交換してください

4. こげたにおいがする。煙が出た。

主な原因	解決方法
瞬時な大量の負荷 (雷・大型機器による過負荷等) によるサージ用バリスターの損傷	電源を切って販売店または弊社までご連絡ください。

仕様(Specification)

製品名		ICT-530J		
入力仕様	定格入力電圧	AC100V		
	定格入力周波数	50/60Hz (自動選定)		
	相数	単相2線式 (アース付き)		
	入力プラグの形状	NEMA 5-15P		
	入力ケーブル長	197cm		
出力仕様	出力コンセント数	4個 (バックアップコンセント2個) (サージ保護のみコンセント2個)		
	最大出力容量	7A		
	バッテリーバックアップ	530VA/265W		
	コンセント最大出力容量	265W (UPS)		
	出力停止までの最大時間	30分 (負荷0~30W)		
	バッテリー変換所要時間	< 10milliseconds		
	定格出力容量	AC100V±20% (バックアップ運転時)		
	定格出力周波数	50/60Hz±0.3Hz (バックアップ運転時)		
	出力波形	矩形波		
	サージ、ノイズフィルタ	EMI/RFIフィルタ		
バッテリー	バッテリータイプ	小型シール鉛蓄電池		
	バッテリー容量	DC6V4.5Ah x 2		
	90%までの充電時間(負荷50%時)	< 8時間		
	バッテリー通常寿命 (周囲温度、放電回数により変化します) * 交換時期目安は保証値ではありません。	使用温度	交換時期目安	
	交換用バッテリー型番	BP4.5-6 x 2 または SW645 x 2		
環境	使用環境	最大高度1, 500メートル 湿度0~95%、0~40℃ * 結露のないこと		
	保管環境	最大高度3, 000メートル 湿度0~95%、-15~40℃ * 結露のないこと		
寸法、重量	外形寸法 (WxDxH) mm	95 x 138 x 158		
	正味重量	約2.43kg		
	梱包寸法 (WxDxH) mm	115 x 172 x 266		
	梱包重量	約2.6kg		
付属品		変換プラグ(2P-3Pアダプター)、マニュアル、保証書		
	オプション (USB タイプ)	USBケーブル、UPSMONソフトウェア		
安全規格	PSE、UL			
無償保証期間	1年			

◆ 保証規定

- ◆ 本製品が保証期間中に故障、欠陥が生じた場合は、弊社の判断により製品を修理または無償交換いたします。
- ◆ この保証は購入後 1 年間です。購入日・購入先が記載された保証書またはそれを証明できるものがが必要です。
- ◆ この保証は事故、過失、誤用により破損を受けた製品や不適切な修理・改造された製品には適用されません。
- ◆ お買い上げ後の輸送や使用中に落とされた場合の故障・損傷・外見上の傷等は適用されません。
- ◆ 異常電圧、雷などの外部要因による故障及び損傷は適用されません。
- ◆ 弊社はいかなる場合においても本製品の使用から生じるいかなる損害に関しても弊社の保証規定以外は一切の責任を負わないものとします。
- ◆ その他当社の責任とみなされない故障。
- ◆ 詳しくは添付の保証書をご覧ください。

お問い合わせ窓口：お問い合わせをいただく前に本マニュアルまたはホームページをご覧ください。

ホームページ <http://www.pcmups.jp>

お問い合わせメール info@pcmups.jp

電話によるお問い合わせ 03-5332-5186

受付時間 月曜～金曜の午前 10 時～12 時、13 時～17 時

(祝祭日および弊社の定めた休日は除く)